

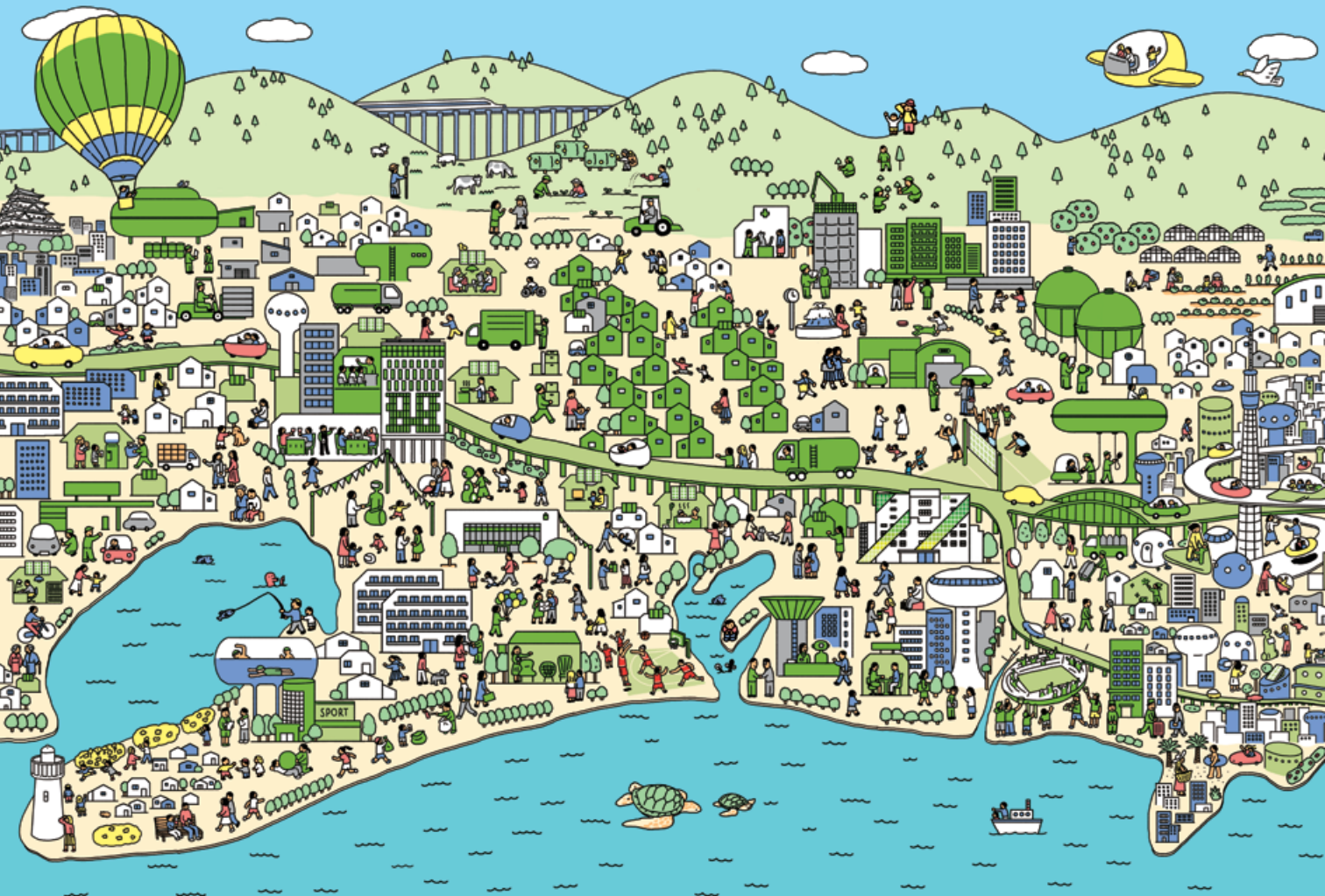
第23期

株主通信

生活にファインクオリティ

sala

2023年12月1日から2024年11月30日まで



証券コード: 2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ



株主の皆さまにおかれましては、平素より
当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申し
あげます。

当社グループの第23期(2023年12月1日～
2024年11月30日)の概況についてご報告申し
あげます。

代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO

神野 吾郎

業績ハイライト

ソーラグループは、2023年11月期を初年度とする第5次中期経営計画の2年目としてカーボンニュートラル推進につながる新たな成長分野への積極的な投資やDX(デジタルトランスフォーメーション)による事業構造の抜本的な改革に引き続き取り組み、同計画の達成に向けて各施策を積極的に推進しました。

当期におきましては、エネルギー&ソリュー

ションズ事業のソーラエナジー(株)は、静岡県浜松市内に建設中の「ソーラ浜松蓄電所」に続く取組みとして、東三河バイオマス発電所敷地内において、再生可能エネルギー併設型蓄電所「ソーラ東三河蓄電所」の建設に着手しました。いずれの蓄電所も2025年11月期の稼働開始を予定しています。エンジニアリング&メンテナンス事業におきましては、脱炭素化に寄与する省エネ・創エネ設備やZEB

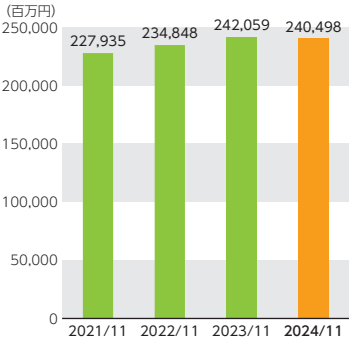
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化の提案などを通じた取引拡大を進めたほか、プロセス管理の継続的な改善に取り組み、収益基盤のさらなる強化に努めました。また、セグメントの枠を越えた連携として、暮らしの事業領域において中古住宅流通事業の展開に取り組むとともに、BtoBのお客さまに向けてカーボンニュートラル診断を通じたソリューション提案を推進するため、営業体制の充実に取り組みました。さらに、新たな成長投資の取り組みの一つとして、愛知県名古屋市・尾張地方を中心に住宅リフォーム事業等を展開する(株)安江工務店(本社:愛知県名古屋市)に対する株式公開買付け(TOB)を実施し、2024年12月に連結子会社化

しました。

当期の経営成績につきましては、エネルギー＆ソリューションズ事業が減収となったことから、売上高は前期比0.6%減の240,498百万円となりました。利益面はハウジング事業において収支が大きく改善したことから、営業利益は前期比3.7%増の6,308百万円となりました。経常利益は営業外収益の為替予約に係るデリバティブ評価益が増加したことから、前期比4.1%増の8,193百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期の業績には特別利益として退職給付制度改定益が含まれていたことから、前期比13.9%減の5,249百万円となりました。

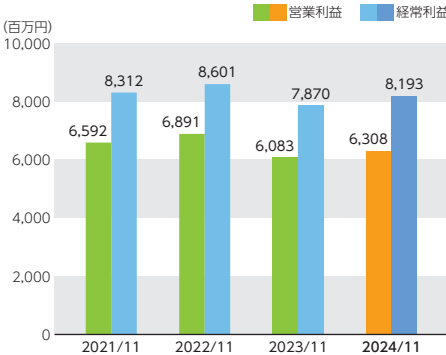
売上高

240,498百万円
(前期比0.6%減)



営業利益

6,308百万円
(前期比3.7%増)

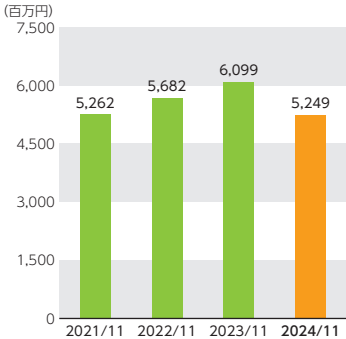


経常利益

8,193百万円
(前期比4.1%増)

親会社株主に帰属する当期純利益

5,249百万円
(前期比13.9%減)



配当及び次期の連結業績予想

配当について

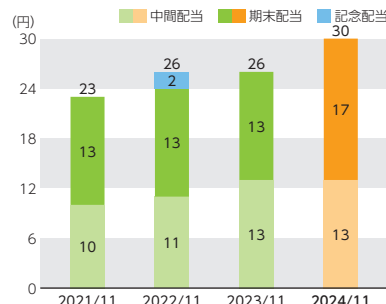
年間配当金

30円

当社は、2024年7月に配当方針を下記のとおり変更しております。

<配当方針>

配当は前期以上を維持しつつ、かつ為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向40%以上とします。また、自己株式の取得につきましては、市場環境や資本効率を勘案し機動的に実施します。



当期の期末配当につきましては、新たな配当方針に基づき前期実績から4円増配し1株当たり17円といたしました。この結果、当期の年間配当金は中間配当金13円と合わせて、1株当たり30円となります。

なお、為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除いた連結配当性向は43.0%です。

次期の連結業績予想について

エネルギー&ソリューションズ事業におけるガス販売量の増加に加え、カーライフサポート事業においてフォルクスワーゲン、アウディの新車、中古車の販売台数増加を見込み、売上高は当期比で増収を計画しています。利益面はガス販売量の増加等に伴う売上総利益の増加により、営業利益は増加する見込みです。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
2024年11月期実績	240,498	6,308	8,193	5,249
2025年11月期計画	254,000	7,000	7,500	5,000
増減率 (%)	5.6	11.0	△8.5	△4.8

計画どおり推移しますと、売上高及び営業利益は過去最高となります。なお、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を織り込んでいません。

安江工務店がサーラグループ入り

当社は、住宅リフォーム事業等を展開する㈱安江工務店(本社：愛知県名古屋市)に対する株式公開買付け(TOB)を実施し、2024年12月に連結子会社化しました。

住宅リフォーム分野における高い専門性を有する同社は、名古屋・尾張地区を主力エリアとしており、東三河・遠州地区を基盤とする当社グループと地域の補完性があります。当社は、2030年ビジョンで「住まい分野の飛躍的成長」を掲げており、同社のグループ入りを契機にお互いが持つリフォーム事業のノウハウや顧客基盤の活用、人材交流などを通じてシナジーを発揮し、住まい・暮らしの事業領域の強化を図ります。



話しましょ、たくさん

名 称：株式会社安江工務店

事業内容：住宅リフォーム、リノベーション、
オリジナル建材開発・販売、注文
住宅設計・施工、不動産売買仲介等

注文住宅のフラッグシップ商品「SINKA KIWAMI」を発売

サーラ住宅(株)は、注文住宅「SINKA(シンカ)」シリーズの最上位モデルとして、国内最高水準の断熱等性能等級7^{※1}に対応した「SINKA KIWAMI(キワミ)」を2025年1月より販売開始しました。

家庭用エアコン1台で建物全体をくまなく快適温度にコントロールする全館空調に加え、湿度を40～60%に保つ加湿システムを搭載。快適で健康的な暮らしを叶えます。

一年中全館空調しているにも関わらず、年間光熱費は平均的な住宅と比べて約40%安く抑えられます。さらに10～15年ごとに必要となる全館空調のメンテナンスコストも、約1/3に抑えられる家計に優しい商品です。



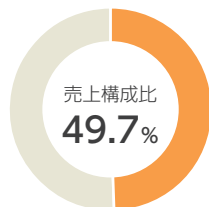
※1：地域の気候をもとに8段階で定められた省エネ地域区分の内、同社施工エリアが該当する5・6・7の場合

事業セグメント別の概況

エネルギー＆ソリューションズ事業



都市ガス、LPガス、電気、石油製品、高圧ガス、物流サービス、リフォームなど



売上高 **119,502** 百万円
(前期比 **6.0%減**)

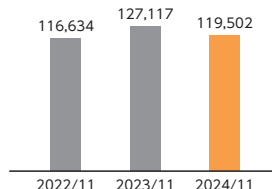
営業利益 **2,966** 百万円
(前期比 **0.8%減**)

業績の概要

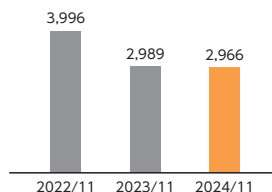
今後の取組み

- 原料費調整制度に基づき都市ガス販売価格を下方調整したことにより、売上高は減少しました。
- 都市ガス、LPガスとともにガス販売量が減少したことに加え、バイオマス発電所の原料であるパーム椰子殻(PKS)の価格高騰の影響などにより営業利益は微減となりました。
- 省エネやCN(カーボンニュートラル)提案を通じて、お客さまや地域の課題解決に取り組むとともに、グループ内外との連携・共創により暮らしビジネスの拡大に挑戦します。
- 電力事業において、蓄電ビジネスを通じて需給バランスを均衡させる調整力を提供するとともに、需給調整市場等における取引により新たな収益機会の創出を目指します。

売上高推移 (百万円)



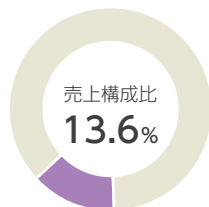
営業利益推移 (百万円)



エンジニアリング＆メンテナンス事業



都市インフラ整備(道路、トンネル、建築、港湾土木など)、設備工事・メンテナンス、システム開発など



売上高 **32,727** 百万円
(前期比 **6.8%増**)

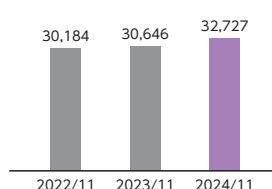
営業利益 **2,643** 百万円
(前期比 **0.6%減**)

業績の概要

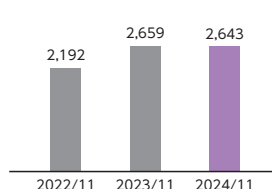
今後の取組み

- 建築部門の完成工事が増加したことに加え、メンテナンス部門が堅調に推移したことにより、売上高は増加しました。
- 土木部門において完成工事粗利益が減少したことにより営業利益は微減となったものの、引き続き高い水準を維持しました。
- 省エネや創エネ、カーボンオフセット化など脱炭素化に寄与する設備・インフラ提案やZEB化の提案により、お客さまの事業活動におけるCN化に取り組めます。
- 安定的な収益基盤づくりのための業務プロセス改革を継続するとともに、IT化やマネジメントレベルの向上、社員教育の強化などによる組織力の強化を図ります。

売上高推移 (百万円)



営業利益推移 (百万円)



ハウジング事業



注文住宅・分譲住宅、リフォーム、建築資材など



売上高

35,626 百万円
(前期比 4.2%増)

営業利益

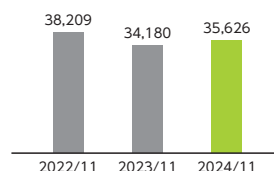
747 百万円
(前期比 423.4%増)

業績の概要

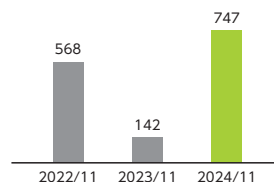
今後の取組み

- 住宅販売部門は前期に販売を開始した新商品シリーズの受注が伸び、注文住宅の販売棟数が増加しました。住宅部資材加工・販売部門は愛知県東部・静岡県西部エリアの新設住宅着工戸数が減少した影響により受注が減少しましたが、セグメント全体では売上高は増加し、営業利益は大幅に増加しました。
- 住宅販売部門は、注文住宅商品「SINKA(シンカ)」シリーズのラインアップが揃ったことから、省エネと快適性に優れた注文住宅の販売をさらに促進します。
- 住宅部資材加工・販売部門は、新築市場における取引拡大に加え、リフォーム市場や非住宅市場の開拓及びCN関連商材の取扱い強化に取り組めます。

売上高推移 (百万円)



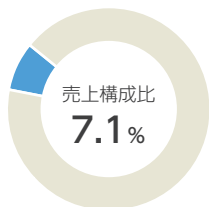
営業利益推移 (百万円)



カーライフサポート事業



輸入自動車(フォルクスワーゲン、アウディ)の販売、整備など



売上高

17,111 百万円
(前期比 5.7%減)

営業利益

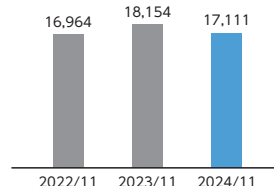
64 百万円
(前期比 221.3%増)

業績の概要

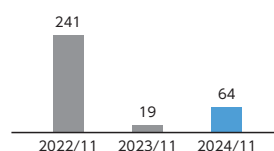
今後の取組み

- フォルクスワーゲン、アウディとともに国内の入荷台数減少の影響により新車販売台数が減少しました。新車販売が低調に推移したことに伴い、下取り車が減少したため中古車販売台数も減少し、売上高は減少しました。
- 経費の抑制に努めたことにより販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益は増加しました。
- 新車販売、中古車販売及びサービス部門の連携強化により、お客さま満足度向上につながる顧客情報の活用に取り組めます。
- グループ連携により店舗のCN化を一層進めるとともに、EVの積極的な販売や環境変化に対応した新たな事業・サービスの創造に取り組めます。

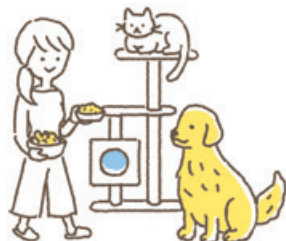
売上高推移 (百万円)



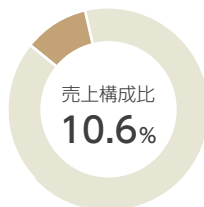
営業利益推移 (百万円)



■ アニマルヘルスケア事業



ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品など



売上高 **25,523** 百万円
(前期比 1.6%増)

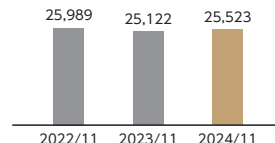
営業利益 **138** 百万円
(前期比 55.9%減)

業績の概要

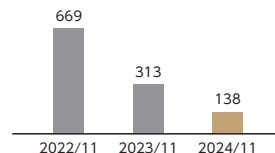
- 畜産部門は飼料価格の高止まりの影響から動物用医薬品等の受注は低調に推移しましたが、ペット関連部門において新規顧客との取引拡大が寄与し、売上高は増加しました。
- 動物用医薬品等の仕入価格が上昇したことにより、営業利益は減少しました。
- 営業と配送の分離により倉庫業務を集約化することに伴い、効率的な事業構造へ変革を図るとともに、組織的な営業力の強化に取り組みます。
- 業務フローの見直しや受注、営業サポート業務等の集約による効率化を図るとともに、取扱い商品の選択と集中により収益力を高めます。

今後の取組み

売上高推移 (百万円)



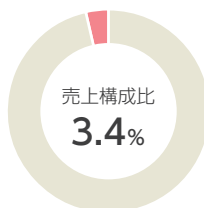
営業利益推移 (百万円)



■ プロパティ事業



不動産賃貸・売買、まちづくり事業、ホテル、飲食店、スポーツクラブなど



売上高 **8,131** 百万円
(前期比 62.5%増)

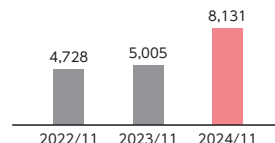
営業利益 **405** 百万円
(前期比 1.5%減)

業績の概要

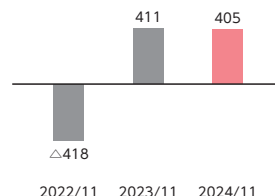
- 不動産部門において2024年4月に竣工した分譲マンションの引渡しを開始したことに加え、ホスピタリティ部門が堅調に推移したため、売上高は大幅に増加しました。
- 分譲マンションの販売による収益があったものの、不動産仲介及び賃貸物件からの手数料収入が低調に推移したことから、営業利益は微減となりました。
- 不動産部門は、お客さま接点の強化やお客さまの資産管理・運用ビジネスの拡充、グループ連携による中古住宅ビジネスの推進などにより収益力を強化します。
- ホスピタリティ部門は、商品企画力や社員教育などの強化、データ活用によるマーケティング施策の実施により、新規顧客獲得や既存客の再来店を促進します。

今後の取組み

売上高推移 (百万円)



営業利益推移 (百万円)



会社の概要及び株式の状況 (2024年11月30日現在)

商 号	株式会社 サラコーポレーション	
設 立	2002年5月1日	
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サラタワー	
資 本 金	80億2,500万円	
証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場	
役 員	代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO	神 野 吾 郎
	常務取締役	渡 会 隆 行
	取締役	樽 林 孝 尚
	取締役	鈴木敬太郎
	取締役	大 辻 祥 子
	社外取締役	一 柳 良 雄
	社外取締役	大久保和孝
	取締役(常勤監査等委員)	武 川 裕 樹
	社外取締役(監査等委員)	村松奈緒美
	社外取締役(監査等委員)	安 形 哲 夫

従 業 員 数 3,963名(連結)

発行可能株式総数 120,000,000 株

発行済株式総数 66,041,147 株
(自己株式13,687株を含む)

1 単元の株式数 100 株

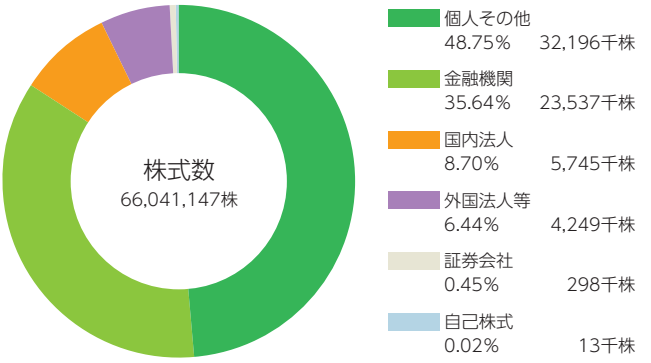
株 主 数 16,670 名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
サラコーポレーション従業員持株会	4,957	7.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,235	6.41
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
サラエナジー共栄会	2,405	3.64
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,285	3.46
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
神野吾郎	1,377	2.08
THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AGREEMENT MOTHER FUND	1,288	1.95

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布



ホームページのご案内

当社はホームページ内に投資家の方々を対象とした投資家向け情報のページを設けています。株主通信のバックナンバーや決算短信、配当金情報といった各種資料等がご覧いただけます。

▶ <https://www.sala.jp/ja/ir.html>

サラコーポレーション

検索



統合報告書

ステークホルダーの皆さまにサラグループの事業戦略や価値創造ストーリー、また、グループの事業活動が環境や社会、サステナビリティとどのようなつながりがあるのか分かりやすくお伝えし、サラグループへの理解を深めていただける統合報告書をホームページに公開しています。

▶ https://www.sala.jp/ja/ir/library/integrated_report.html



株主メモ

事業年度

12月1日～翌年11月30日

定時株主総会

毎年2月

基準日

定時株主総会の議決権・期末配当	11月30日
中間配当	5月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 **0120-782-031**

取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法

電子公告（当社ホームページに掲載します）

<https://www.sala.jp/>

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

住所変更など各種事務手続きに関するお問い合わせ先

◎証券会社に口座を開設されている株主さまは、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

◎証券会社に口座がないため特別口座で株式を保有されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社（下記お問い合わせ先）にお問い合わせください。

未払い配当金のお受け取りに関するお問い合わせ先

◎株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社（下記お問い合わせ先）にお申し出ください。

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社

 **0120-782-031**（通話料無料）

受付時間：土・日・休日・年末年始を除く午前9時～午後5時